

# IV 事業の状況

## 1 相談受付の状況

### (1) 全体概況

平成30年度の群馬県全体における相談受理件数は10,531件で、対前年度比394件(3.9%)の増加となっている。これは、児童人口1,000人(注1)に対して35.9件(H29年度33.9件)である。

また、最近10年間の相談受理件数の推移は図1-1のとおりである。総件数は平成16年度に大きく増加しそれ以降、高い水準で推移している。さらに、経路別受理件数の内訳は、図1-2のとおりであり、家族・親戚からが約6割を占めている。この経路は障害相談や育成相談に関するものが多い。

[統計資料:表1、2参照]

(注1)児童人口については、「群馬県年齢別人口統計調査結果」(H30.10.1現在)の児童人口(293,341人)による。

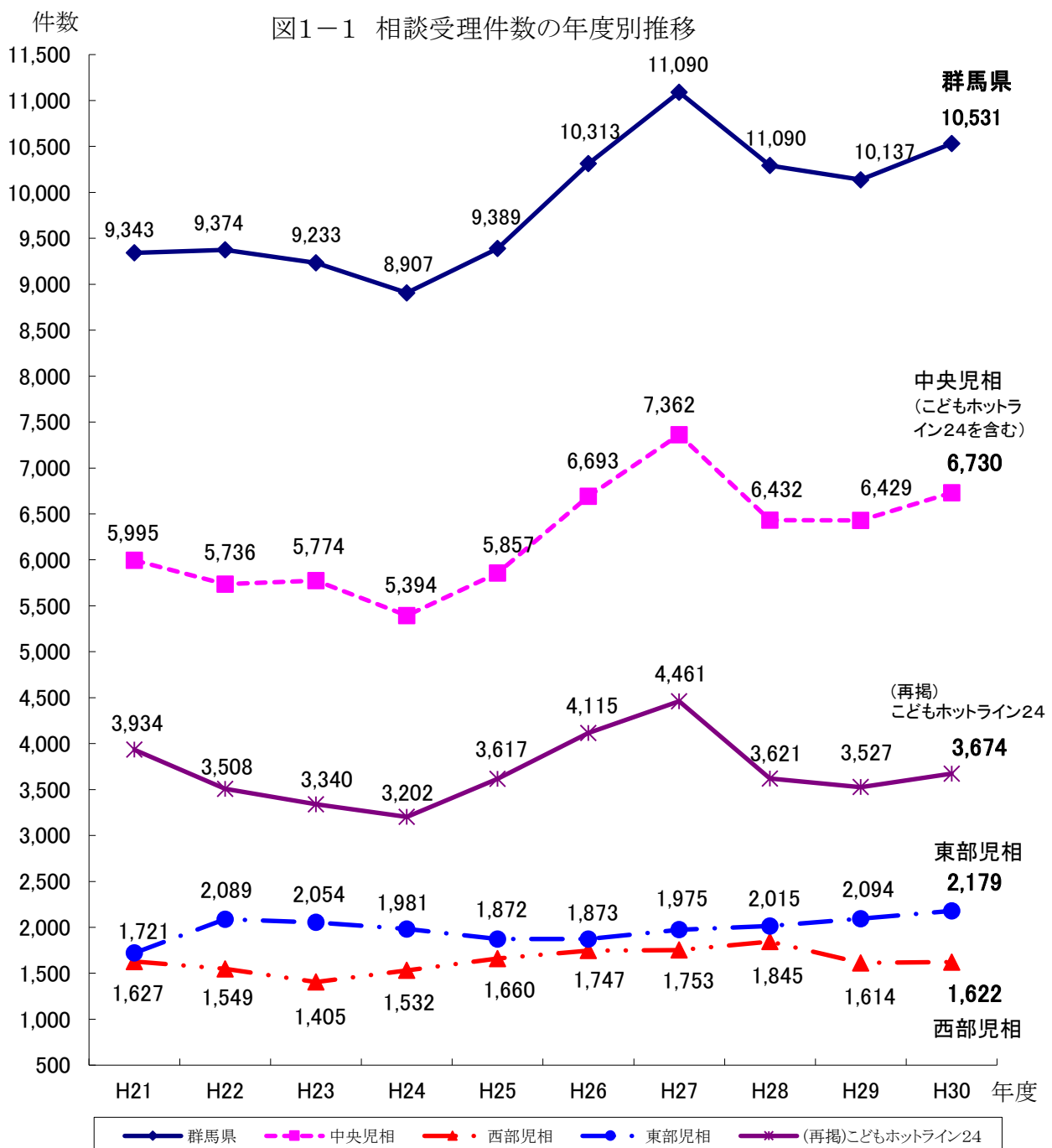
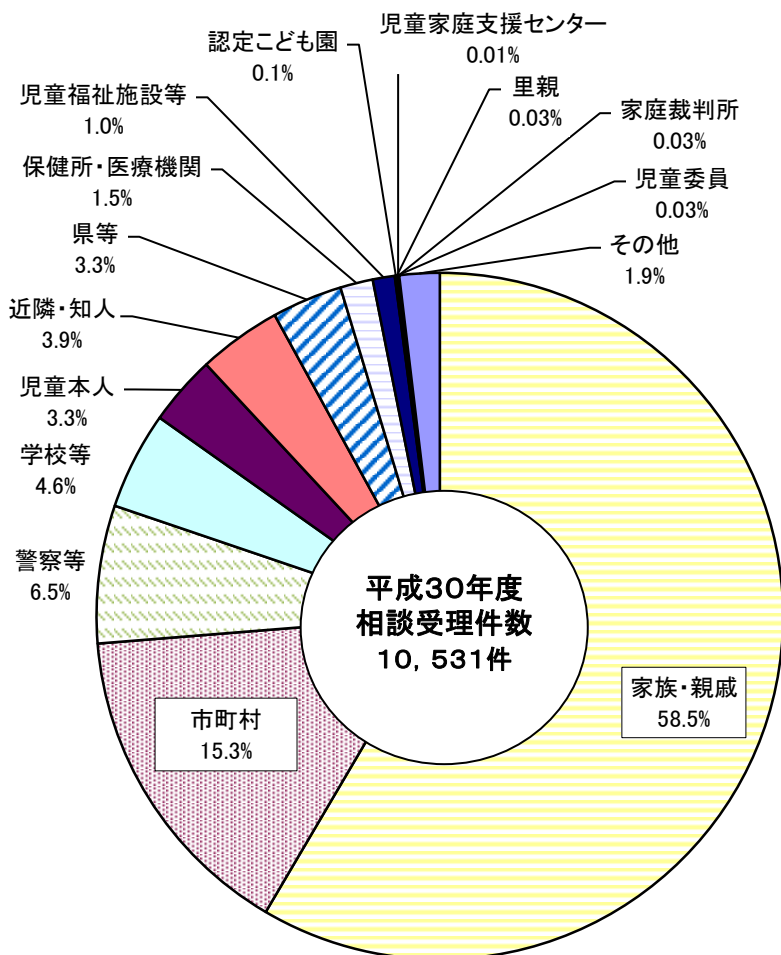


図1-2 経路別受理件数

- |          |              |           |
|----------|--------------|-----------|
| □ 家族・親戚  | □ 市町村        | □ 警察等     |
| □ 学校等    | ■ 児童本人       | ■ 近隣・知人   |
| □ 県等     | □ 保健所・医療機関   | ■ 児童福祉施設等 |
| ■ 認定こども園 | ■ 児童家庭支援センター | ■ 里親      |
| ■ 家庭裁判所  | □ 児童委員       | ■ その他     |



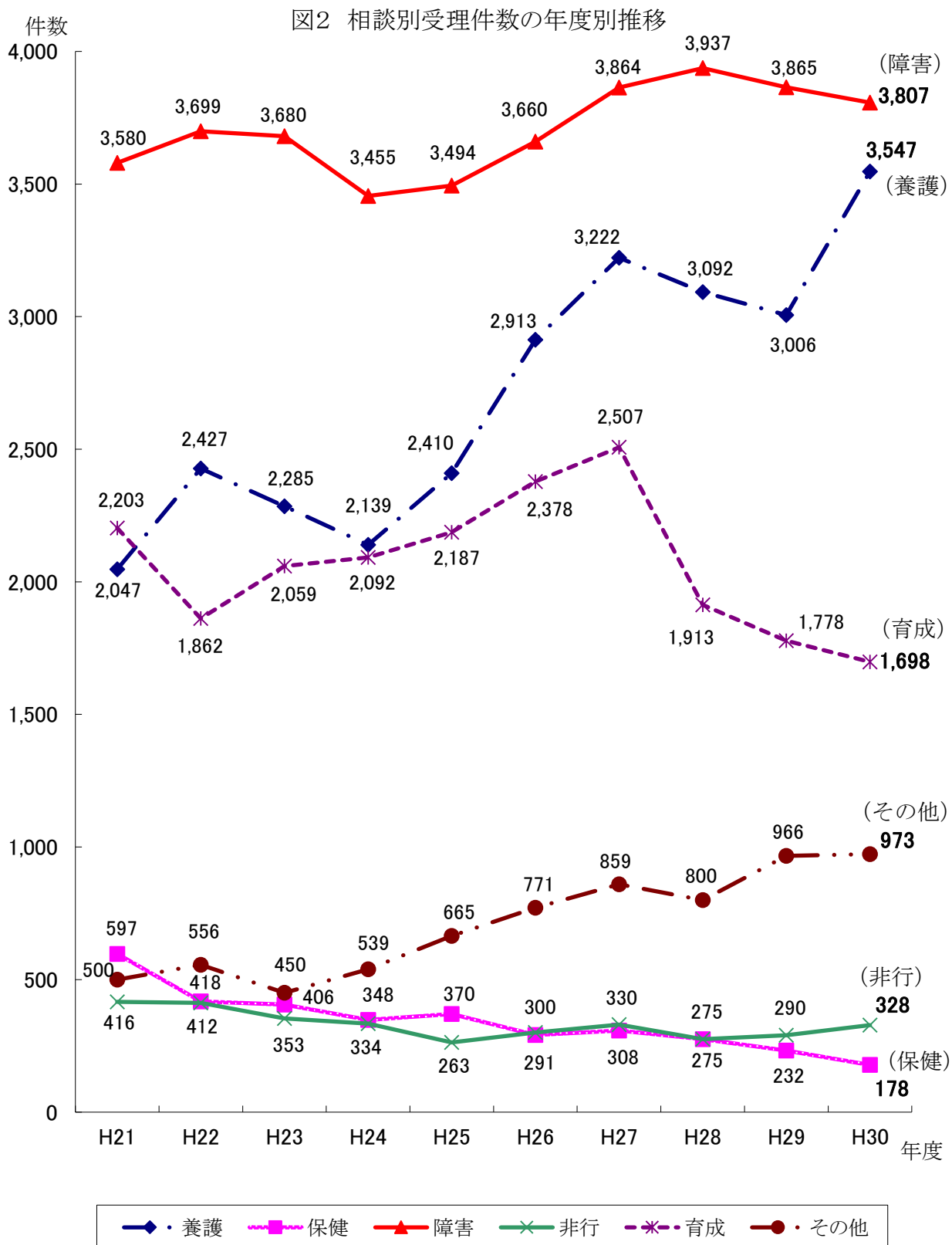
	家族・親戚	市町村	警察等	学校等	児童本人	近隣・知人	県等	保健所・医療機関
中央児相	4,586	203	235	149	322	179	84	36
北部支所	279	309	43	52	3	48	35	14
西部児相	607	392	180	104	13	94	106	40
東部児相	685	703	225	179	8	92	124	72
<b>群馬県</b>	<b>6,157</b>	<b>1,607</b>	<b>683</b>	<b>484</b>	<b>346</b>	<b>413</b>	<b>349</b>	<b>162</b>

	児童福祉施設等	認定こども園	児童家庭支援センター	里親	家庭裁判所	児童委員	その他	計
中央児相	42	5		3	2	2	60	5,908
北部支所	6	4					29	822
西部児相	15	2				1	68	1,622
東部児相	46		1		2		42	2,179
<b>群馬県</b>	<b>109</b>	<b>11</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>199</b>	<b>10,531</b>

(2) 相談別受理状況

最近10年間の相談別受理件数の推移(図2)は次のとおりである。  
 平成30年度は、前年度に比べて相談件数が増加した。なかでも養護相談の増加率が約18%と大きい。  
 一方、障害、育成、保健相談については、減少となった。

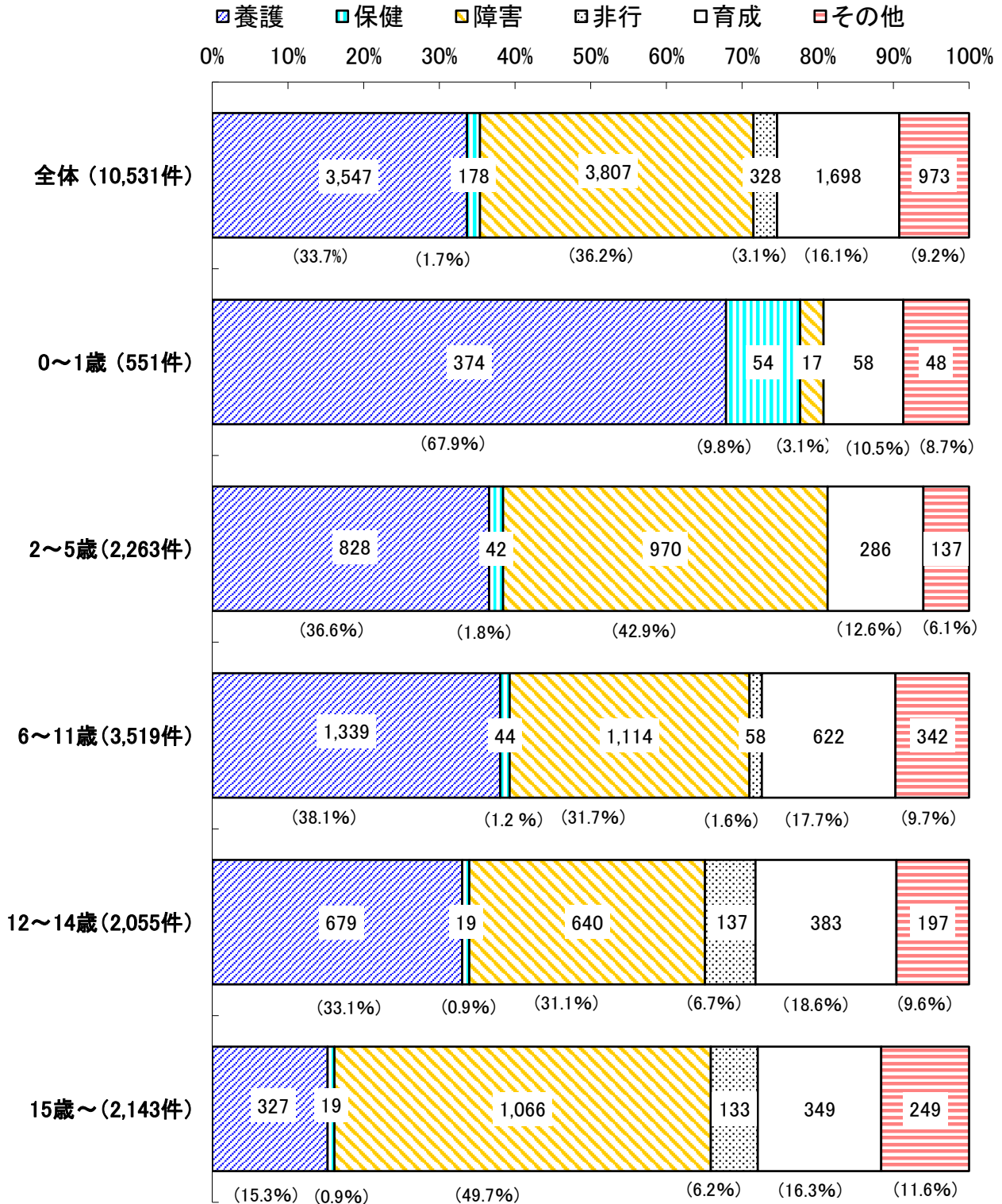
[統計資料:表2参照]



(3) 年齢別受理状況

児童相談所が平成30年度に受理した相談件数について、児童の年齢層別に相談内容別構成割合を示したものが下図である。この図に見るように、各年齢層によって相談内容の構成割合が異なる。例えば、0～1歳は、養護相談(虐待相談を含む)が約68%を占め、保健相談の割合も他の年齢層に比べて高い。2～5歳からは障害相談の割合が高くなり、また、12歳以降で非行相談の割合が高くなっている。

図3 年齢別の相談内容別構成割合



(4) 虐待相談

平成30年度の虐待相談は、前年度比234件(20.5%)増の1,374件で過去最多となった。  
平成23年度と比較すると約2.1倍に増加となっている。

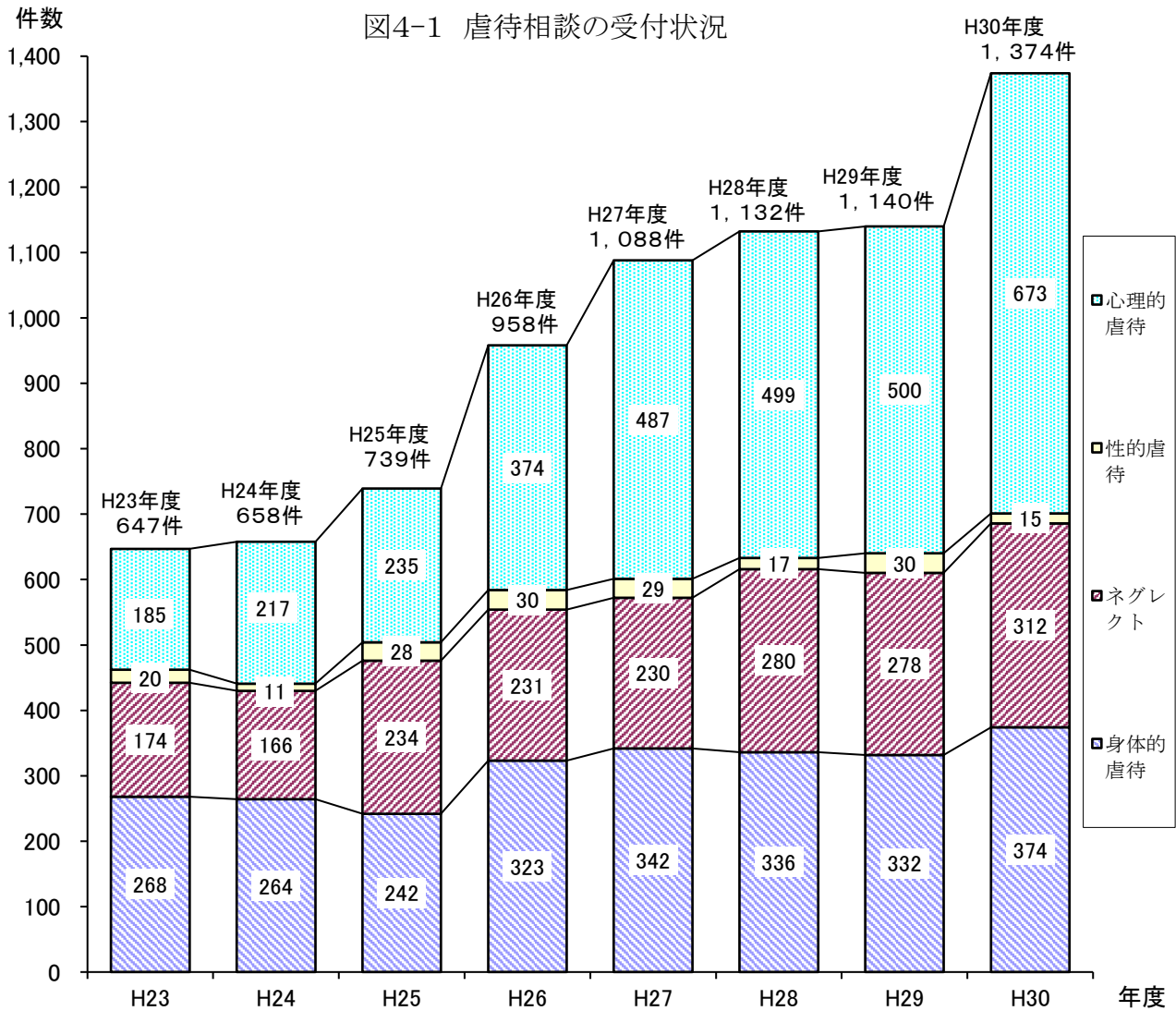


図4-2 虐待相談の経路(平成30年度:1,374件)

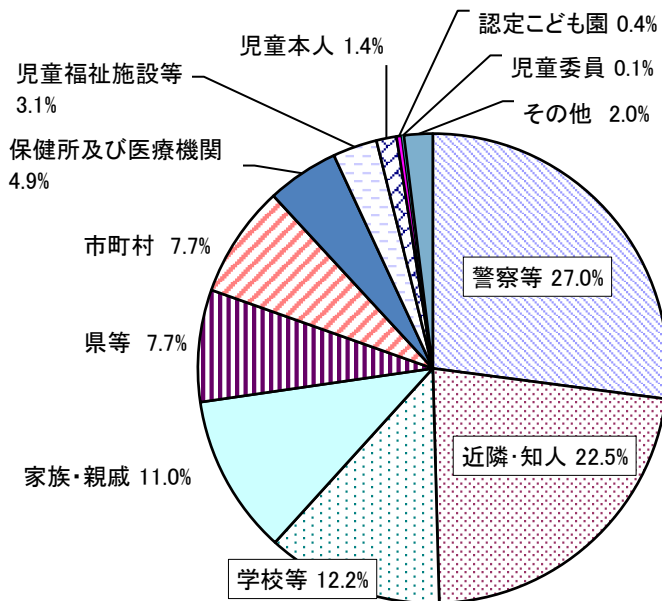


図4-3 虐待種別・年齢別状況

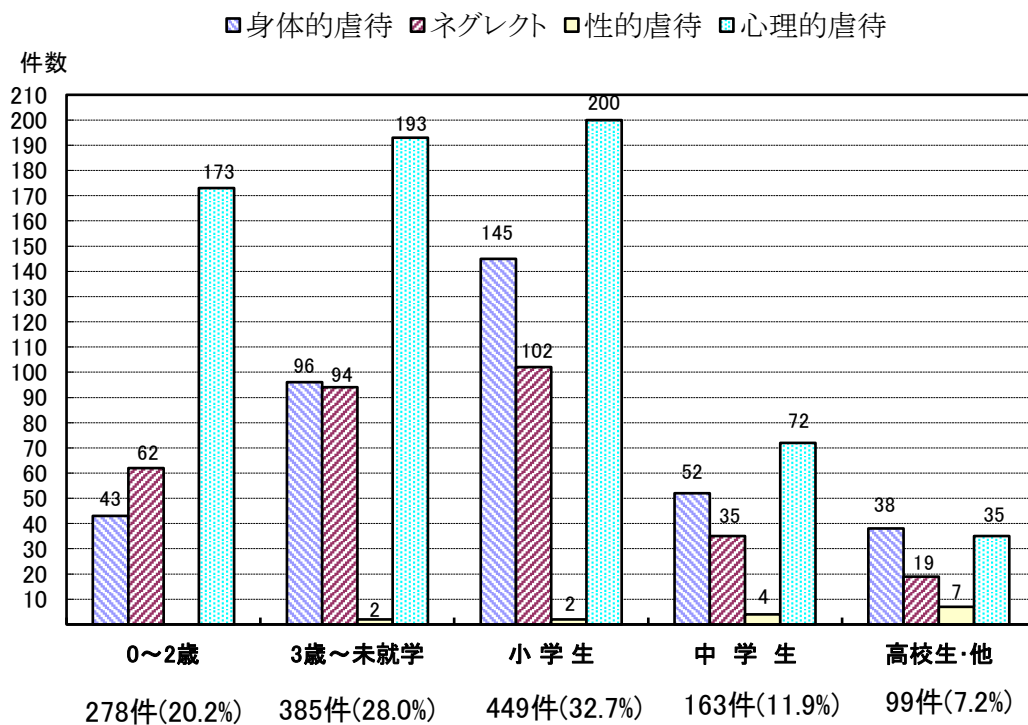


図4-4 主な虐待者

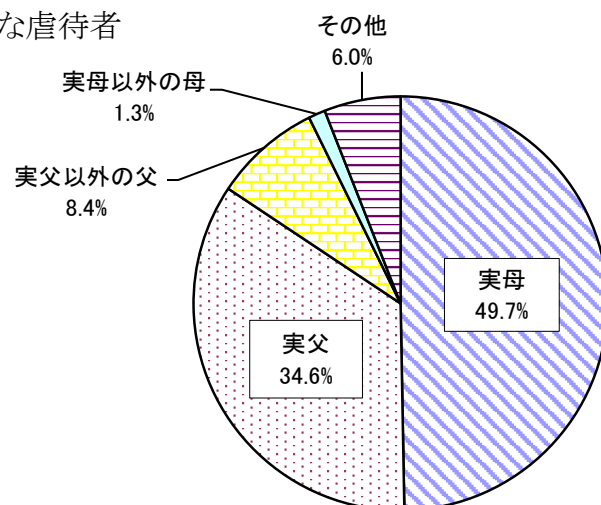


図4-5 援助の状況

